

光葉同窓会メールマガジン

<2024年9月号>



207号 2024.9.02 配信

秋の七草も咲きそろそろ季節となりますが、猛暑が依然として続いております。学生は9月末まで夏休みなので大学の構内は静かです。

2024年から毎年、秋桜祭の初日に昭和女子大学と共催で、学部、短大卒業後30年、40年、50年、60年の皆様を大学にご招待し、旧交を温めていただく機会としてホームカミングデーを開催することになりました。今年は11月9日(土)で、あと2ヶ月余りです。友人をお誘いあわせ、母校でのひとときをご一緒しませんか。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

(常任委員 乃村博子)

◇光葉同窓会光葉都奨学金 【研究奨励奨学金】

研究奨励奨学金は、大学院生・学部生の研究活動推進を目的としており、指定された日に研究発表できる方を支援する制度です。

8月23日の本部役員会で、生活機構研究科心理学専攻修士の富岡美良さんに、「大学生の睡眠とレジリエンス、ハーディネスが、ストレス反応に及ぼす影響」を発表していただき、研究奨励奨学金を贈呈しました。



◇同窓生紹介

2020年、昭和女子学創立100周年の記念事業として、片木孝子さん(1997年生活美学科卒業)が、学内のこども広場『てるてるテラス』と学生広場『サンサンアヴェニュー』の緑地を設計、整備しました。ランドスケープ協会主催のCLA賞2023年で、世の光となる心を育むランドスケープとして特別賞を受賞しました。さらに、日本造園学会のランドスケープ選集にも選定されました。

片木さんは、現在も大学に定期的に訪れて、里山をイメージした緑地の管理を継続して行っています。

ご来校の際はお立ち寄りいただき、野の花や草木で和まれてはいかがでしょうか。



◇支部会の開催

- ・9月14日(土) 福島県支部 ・9月29日(日)山形県支部
- ・10月5日(土) 富山県支部/鹿児島県支部
- ・10月6日(日) 渋谷・目黒支部/佐賀県支部/鳥取県支部

◇第 32 回秋桜祭 お手伝いボランティアスタッフ募集中!

11月9日(土)・10日(日) 10時～15時30分

秋桜祭の開催当日(11月9日、10日、又は両日)にご都合がつく方を募集しています! 詳細は、同窓会事務局までお問合せください。 **光葉同窓会事務局 TEL: 03-3421-7713**

広げよう光の葉

三好 慶子さん

1985年 英米文学科卒業

「箏演奏家として生きる現在(いま)とその原点」

大学時代は、学校生活を送りながら、将来は、箏三絃演奏家となるため創明音楽会会長の小野衛先生にご指導を受ける日々でございました。先生のご指導は本当に厳しくて、月に二曲は指導を受けて暗譜をするといったものでした。

在学中は、いうのも恥ずかしいのですが、昼は大学、夜遅くまでの稽古で、授業中に居眠りをしてしまったり、試験前は友人にノートをお借りしたりしておりました。大学に在籍しながら、寝る間も惜しんで稽古に励みました。今では考えられないのですが、帰宅は日をまたぐことも珍しくはございませんでした。自分でも、よくあの生活を続けられたなあと思うのですが、若さだったのだと今はわかります。

卒業後は香川県の地元に帰り、箏三絃指導者としてそして箏三絃演奏家としての活動を始め、途中8年ほどお休みいたしました。現在まで40年の歳月が流れました。

お弟子さんや家族に支えられて、今、演奏家として指導者として多忙ですが充実した日々を過ごしております。

2023年7月、G7香川・高松都市大臣会合では御前演奏を拝命いたしました。また、初代国立劇場さよなら公演の大舞台でも演奏しました。名誉なことと感謝しております。

そして今も懐かしく嬉しいことは、香川県支部が発足する前に、数名の先輩方が私のリサイタルを聴きにきてくださったことです。その後、その時の諸先輩の皆さんで力を合わせて、香川県支部が形になっていったと記憶しております。支部発足の1回目の会でも演奏をさせていただきました。昭和女子大学の光葉同窓会の諸先輩方は本当に素敵な方揃いで、同期も含め、人生の生き方、前向きな歩み方をお示しくくださり、心から感謝いたしております。

在学時に、学長でいらした人見楠郎先生が、「うちの大学は、卒業してから、本当の意味で良さがわかる」と同窓会の素晴らしさを力説されておられました。今、それを体感しております。

邦楽界を牽引する箏三絃演奏家の一人としての道をこれからも追求し続けて、命の限り精進を続けて、人々に感動を届けられる、そんな音楽家でいたいと願っております。【End】

